

山形県青少年育成県民会議『令和6年度総会』

新会長に柿崎則夫氏（元山形県立新庄北高等学校校長）を選出

今年度の総会は、会員の方の総会参加の機会を確保するため、①会場での参加、②書面議決による参加のいずれかの参加方法を選択していただき、会場53名、書面311名、合計364名の方に参加をいただきました。

総会では、令和5年度の事業・決算報告、令和6年度の役員(案)とともに、令和6年度の事業・予算(案)について審議が行われ、すべての議案が参加者の皆様の賛成により承認されました。

今後、承認されました令和6年度事業計画に基づき、各種事業を進めてまいりますので、皆様からの御支援と御協力をお願い申し上げます。

[総会概要]

午後1時30分、井上常任理事の進行により開会しました。

はじめに、伊藤会長代りが、「青少年を取り巻く現状は依然として事件やトラブルが発生している。県民会議が推進の主体となって関わっている「大人が変われば子どもも変わる」県民運動、“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動をさらに充実、強化していくことが求められている。」と挨拶しました。



続いて、来賓の平山雅之副知事、矢吹栄修副議長から御祝辞をいただきました。

議事に移り、昨年度の事業報告と収支決算報告、役員を選任、今年度の活動方針や事業計画、収支予算などについて協議を行い、提案された全ての議案が承認されました。（今年度役員は裏面に記載）

そして、役員選任により、新しく柿崎則夫氏(元県立新庄北高等学校校長)が会長に選出されました。



○柿崎新会長のあいさつ



○県庁会場の様子

[令和6年度活動方針]

少子・高齢化、情報化、国際化が急速に進展し、青少年を取り巻く環境が厳しさを増しています。こうした状況の下、県では令和2年3月に「山形県子ども・若者ビジョン」を策定し、「子ども・若者一人ひとりが安心できる環境の中で、自分を大切に、他者との関わりを持ちながら、自己形成や他者に対する尊重、社会への参画力の醸成、心身共に健全で豊かな人間性が養われるよう、社会全体で子ども・若者の育ちや自立を支援する」こととしています。

このような社会状況や県の施策の方向を踏まえて、①心身を健やかに育む、②社会力を育成する、③社会参加、社会的自立を促す、④社会環境の浄化の4点を活動の方向とし、次の重点事項に積極的に取り組みます。

～ 重点事項 ～

- ① いじめ・非行防止に係る取組みの一層の推進
・青少年が主体的にいじめ問題と向き合い、その解決を考える取組みを関係機関と一体的に推進する。
- ② 地域の実践活動の強化、促進
・市町村民会議、県地区青少年育成連絡協議会の活動や人材育成を支援する。
- ③ 青少年を社会全体で育成・支援する環境づくりの推進
・青少年の健全育成の理解を促進するため情報発信の強化などを図る。
青少年を地域で見守り、育み、支援する。
インターネットの安全・安心な利用を啓発する。

[令和6年度予算]

1. 県民会議運営事業	9,038,000円
2. 県民運動総合推進事業	3,857,000円
(1) “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動	(2,760,000円)
(2) 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動等 地域社会環境づくり推進	(1,097,000円)
3. 青少年育成意識醸成・環境づくり推進事業	1,030,000円
(1) 明るいやまがた夏の安全県民運動等	(50,000円)
(2) 青少年健全育成県民大会開催等	(280,000円)
(3) 少年の主張大会開催	(700,000円)
4. 青少年育成広報啓発事業	111,000円
(1) 機関紙等の発行	(100,000円)
(2) 啓発活動	(11,000円)

[令和6年度役員]

会 長	柿崎 則夫	
副会長	宮田 浩一 山口 和夫 長岡 好永	伊藤 康則 小松 功
常任理事	齋藤 法明 菊地 元宏 笹原 茂隆 阿部 正博 長谷川 吉之介	井上 達也 齋藤 芳昭 青山 幹夫 古沢 和明
理 事	後藤 道子 丹羽 廣昭 辻原 吉子 鈴木 昌克 菊地 幸二 三上 仁 柴田 典子 東海林靖志 遠藤 智子	武田幸太郎 山口 四郎 沢口 肇 町田 裕俊 佐藤 友介 鈴木 隆一 石井 靖雄 高橋 秀之
監 事	橋本 善彦	安達喜代美

～柿崎新会長からのメッセージ～



社会の少子高齢化の進展や目まぐるしく変化する環境の中、これからの社会を担う青年、子どもたちの育成がこれまでにないくらい重要性が増していると感じています。しかしながら、いじめ・貧困・虐待のほか、青少年が犯罪やトラブルに巻き込まれる事件も後を絶たない現状にあり、今こそ、企業・行政・学校・団体・個人が青少年健全育成のために手を携え結束して取り組みを進めるべきときだと思います。

私も微力ながら、力を尽くしてまいりますので、皆様方からの御指導・御協力を心からお願い申し上げます。

新規会員拡大へ

入会のお願い

山形県青少年育成県民会議は、これまで、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動を展開して参りました。今後も、山形の未来を担う青少年が元気で社会性豊かに育つよう、より一層力を入れて、取り組みを展開して参ります。活動や趣旨に御賛同・御協力いただける新規会員の方を募集しております。

入会希望の方は、県民会議ホームページから直接申し込みができます。是非仲間になって、一緒に青少年を支援する活動を盛り上げていきましょう。

☆会員の種類と会費

- ・ 特別会員（一〇三万円）
- ・ 賛助会員（一〇五千円）
- ・ 団体会員（一〇千円）
- ・ 個人会員（一〇千円）

会員の皆様には会報をお送りするとともに、特別会員は会報及び総会資料に、賛助会員は総会資料にお名前を掲載させていただきます。

【特別会員】

- ・ 全国JA農業協同組合連合会山形県本部
- ・ 全国共済農業協同組合連合会山形県本部
- ・ 一般社団法人山形県建設業協会
- ・ 山形放送株式会社
- ・ 出羽三山神社
- ・ 高橋畜産食肉株式会社
- ・ 株式会社グローバルマシーン

（敬称略 順不同）

☆現在の会員数 一、二六九 人・団体

令和六年三月三十一日現在